



学際融合と文化資源学による

陸海シルクロード研究拠点の形成

1

ウズベキスタンの文化財の利活用について
ヒクマトウツラー・ホシモフ氏
(サマルカンド考古学研究所)

2

ウズベキスタンの博物館の利活用について
オタベク・アリプジャンフ氏
(ウズベキスタン歴史博物館)

3

キルギスの文化財・博物館の利活用について
アイダ・アブディカノワ氏
(中央アジア・アメリカン大学)

4

バーレーンの文化財・博物館の利活用について
マシャル・ワリード・ムバラク・アル＝シャムシ氏
(バハレーン文化古物局)

5

ベトナムの文化財・博物館の利活用について
グエン・ヒュー・マイン氏
(ベトナム国家大学ハノイ校)

6

総合討論
司会：足立拓朗（金沢大学古代文明・文化資源学研究所）

2023

11

8

(水)

13:30 ~ 16:15

参加費：無料

使用言語：英語（通訳なし）



場所：金沢大学角間キャンパスかくまちプラザ

金沢大学の古代文明・文化資源学研究所は、継続的な国際研究交流拠点として、令和4年度に設立されました。世界各地の古代文明の研究を対象としており、学際的な若手研究者の育成を主眼としています。本事業では、各国の若手研究者を招致して、日本国内でパレオゲノミクス研究と3D計測の研修を実施する。また、研究・研修成果をシンポジウムで国際的に発信する。本国際シンポでは、若手研究者の革新的研究を発表する場として例年開催する計画である。

問い合わせ 足立 拓朗

Tel: 076-264-5328 E-Mail: mppnb@staff.kanazawa-u.ac.jp